



【おうち英語】信じる者は救われる

目次

- 不安になる時は誰にでもあるある
- 子どもを信じよう
- 人間に備わった能力に委ねよう
- おうち英語は本当はシンプル

【おうち英語】信じる者は救われる

オンライン英会話スクール Englishbuds 管理人 MommyKayo です。

久しぶりの note 投稿となります。

もうすぐクリスマス ✨そして新年 ✨

今年のおうち英語も頑張った!来年も頑張るぞ!

と気持ちを新たに新年を迎えていただくために

「皆さまの心のモヤモヤを吹き飛ばしたい!」と願い、

メッセージを送らせていただきます♪

私をご提供しているおうち英語コンサルでは

おうち英語をどう進めるかアドバイスはもちろん

時には不安な気持ちに寄り添わせていただいたり、

時には喝を入れたり、させてさせていただいております。

今では偉そうにコンサルなんかさせてもらっちゃったりしていますが、

もちろん私にも気持ちが揺れ揺れ、ブレブレのことがあり、

心穏やかにおうち英語に取り組めなかったことも。

でも今は、本当におうち英語に関しては静の境地に達したんですね(笑)

「悩むことなんてないじゃん、やるべきことやってたらそれなりの結果になるよ!」と自信をもって言えるように。

それはもちろんわが子がこれまで見せてくれた軌跡でもありますし、

おうち英語っ子のオンラインスクールの運営に10年携わらせてもらったおかげで、

「これは早期教育うんたらかたらの怪しい話じゃなくて確かなことだ」

と確信するに至ったんですね。

今日はそんなところを一年の締めくくりとして書いてみたいと思います!

■不安になる時は誰にでもあるある

私自身のおうち英語を振り返ってみても、心安泰におうち英語ライフが送れていたわけではありません。

アウトプットが順調に進んだ時などは、これ以上ない喜びを味わいましたが、伸びが止まったように感じられたときは、

焦り、猜疑心、不安、不安を乗り越しての怒り...

というネガティブな感情に苛まれました。

人間は元々普通に思考したら、
ネガティブな方に考える生き物ですが
おうち英語でもドブプリ悪い方に考えて
負のスパイラルにハマっていました。

あの時の私には「子どもが英語が話せるようになる」という確信はなく、「こんなことやってちゃんと結果は出るのだろうか」と心が忙しく、

ドツシリ構えておうち英語に取り組めない日もありました。

負のスパイラルに入ると、なんでも状況が悪化するものですが、
おうち英語においても、子どもに当たり散らしたり、
インプットが滞ってしまったりして、
いいことなど一つもありませんでした。

子育ての期間って思っているより短いものです。

本来、無垢な子どもとの楽しい時間であるべきはずなのに、
不要なネガティブな感情で、育児を楽しめないってモットイナイですよ。
やはりおうち英語における不安も取り除いておくべきかと。

そうは言ってもどうしても不安になっちゃう...という方のために、

おうち英語における不安を払しょくする考え方について

今日は語ってみようと思います!

■子どもを信じよう

私自身、わが子のことを信じてきたわけではないので、
どの口が言うって感じではありますが、
子育てがほぼ終了になってきている今の段階で振り返ると、
「もっと子どもを信じてあげたら良かったよな」
と思うことがほとんどです。
おうち英語をやっていると、親はドンドンドンドン×100
欲深くなっていきます。
最初は"Apple!"と言っただけ、
プーさんのマネをして"Turn around"しただけで
「ウチの子、天才ちゃう?!」と思ったくせに、
少しずつアウトプットが出てき始めると、
「なんでもっとちゃんとお話しないの!」と激ギレしたり・・・。
(T-Fal よりも早く湯を沸かす自信があった瞬間湯沸かし器並みのキレっぷり)

その時あんまり話さなかった、というだけのことを、
「結局、ウチの子、英語わかってないんじゃないか。ああ、もう詰んだ!」
と深刻に考えし過ぎてしまったり。。

でも子どもも人間ですもん。いい時もあれば気分が乗らない時だってある。
まっすぐきれいなグラフのように一直線に伸びて行ってくれたら
親の気持ちはどれほど楽でしょう、と思いますが、
子どもの成長曲線というのはそんな数値化できるものでもなく・・・。

でもある日ふと気が付くんですね。
「あー、結構伸びてるな」とか「随分成長したんだな」と。

一人の人間として生きて行けるようにちゃんと育っていくんですね。

もっと子どもを信じてあげることができたら楽だったろうな～
ということ声を大にして皆さんに伝えておきたいです!!!

そして別の視点でも、子どもを信じることは大切だなあ～と思います。
なぜなら、おうち英語において子どもの英語のレベルアップを
手引きしていくのは親の務めだからです。

いくらアウトプットが出たと言っても
子どもが独りで勝手に自分の英語を
レベルアップさせていってくれるわけではありません。
常に親がインプット素材、アウトプット手段のレベルを
時期を見ながら上げていく必要があります。

ですが、この時、
「うちの子にはまだ早いわ・・・」
「うちの子にはまだできないんじゃない？無理なんじゃない？」
と子どものこと信じず、過小評価をし続けていると
適切にレベルアップさせることができず、
能力に蓋をしてしまうことになります。

私は Englishbuds でよく鬼扱いされています 🍀

多読クラス Bookworm での選書レベルをグイグイ上げて行ったり、
ディベート部にいきなり引っ張りだしたり、
上のクラスに放り込んでみたり♪

まさにその所業は地獄で釜に人を投げ込む鬼!www

でもそれは子どもたちの能力を信じているからできることで、
決してただの鬼ババアじゃありません。(と本人は思っている)

「絶対できるよね!」と心の底から信じているので、
ポンと背中を押すことができるのです。

実際、ちょっと難しいなと思ったときは、止めています。

小さな子にもやっぱり自尊心はあって、
大きな失敗をしたり恥ずかしい思いをすると、
心に傷が残ってしまって、
次に進んでいくときの障害になることもあると思っていますので、
その点は留意しつつも、
基本は子どもの可能性を強く信じることを大切にしています。

信じてあげなきゃ子どもは伸びません。
だから子どもを信じましょうよ!

■人間に備わった能力に委ねよう

それでもわが子が信じられない、と言うことはあるかと思います。

わが子は自分とは別人格と言えど、
半分は自分の遺伝子を受け継いでいるわけなので、
どう考えても優秀なわけじゃない!と私は思ってきました。

自分自身のこれまでのキャリアから、
わが家系は天才とか秀才というところから一番縁遠い種族であることを
自覚していたので、私の分身である子どもが持っている知能や能力を
信じるということは私には非常に難しかったのです。

カエルの子はカエルって言いますし。

幼児英語教育になると必ず巻き起こる議論に、
「まずは国語力をしっかり育ててから英語に取り組んでも遅くはない。
実際、私もそれで英語を身に付けましたしね。」
と涼しい顔で語る識者さんが登場します。

ひねくれ者の私はそういう意見を見ると
「いやいやいや～、あなたは地頭が良い種族に属しておられるから
そうやって高みの見物ができちゃうんでしょ～。
凡人種族の苦しみを知らないんだわ!」
と思ってきました。

間違いなく知能は高くない可哀そうなわが子たち。

そして能力、こっちはどうだろう。

たぶん能力的なところも遺伝しますよね。
今をときめく大谷翔平さんのご両親もスポーツ万能なんだとか。
だったら言語的な才能も遺伝するのかもしれない・・・。
そう考えると、両親ともに文学的な才能が全くなく、
母語の日本語も読み書きレベルがやっとの親を持つわが子たち、
こっちも遺伝的アドバンテージはゼロ・・・。

はい、終了～。チーン!

能力・知能に頼らないで英語ができるようになるにはどうしたらええの。。。

となりそうなどころではありますが、

しかしそもそも言語に知能・才能ってそんなに必要なの?!

と思うようになりました。

文豪とかになりたいのであれば、知能も才能も必要なのですが、

実用言語レベルならそんな才能も知能とか必要ないと思います。

何かハンデがあるなら別ですが、通常、母語であるならば

それなりの実用会話ができる程度の言語能力は身に付きますよね。

日本語も英語も高望みしなければそれくらいなら行けるんじゃないかと。

私の場合、そう考えたことで少し肩の力が抜けました。

頭で考えたり意識しなくても心臓が動いたり、

細胞が生まれ変わるように、与えるべき言語環境を与えたら、

言語習得していくのが人間の生まれ持った本能なんじゃないか、と。

そうだ、言語習得は【本能】なんだ。能力、知能じゃない!

実際そうなんだと思います。

持ってない新しい能力をトレーニングによって開発するのでもなく、

知能をフラッシュカードとか使って刺激するのでもない、

人間の本能が働くように環境を整えるだけじゃん!と思い至って、今に至ります。

■おうち英語は本当はシンプル

そう、おうち英語は実は本当はシンプルなものなんです。

いろんなアプローチ、いろんな素材、教材がありますが、

ここの本質をまずは押さえておくべきなんじゃないかと思います。

ここがわかったから、すべてが解決するというわけではなく、

おうち英語では、子ども一人一人にカスタマイズさせていったり、

レベルアップさせていったりと、ステージ毎にこまめな働きかけは絶対的に必要です。

ただこの土台をわかって信じて取り組むかどうかというのは、信念が固まるというか、心のブレを無くすという意味で非常に大切なことなんじゃないかと思うのです。

迷いながら、疑いながらすることで成功することってありますか？

あんまりないんじゃないかなあ・・・と思います。
疑ってたらやっぱりどこかで挫折してしまいますよね。

今年、Englishbuds はお陰様で10周年に突入しました♪
皆さまのご支援のおかげで成し得たことだと本当に感謝しています。

そしてわが家のおうち英語も20年目です。

この20年、そして10年を振り返ってみると、
楽しいことばかりではなく、
辛いこと、悲しいこと、憤怒(めっちゃ怒ってる)など悲喜こもごもでした。

こちらの記事の冒頭でお話した通り、
おうち英語初期に何度もおうち英語の取り組みを放り投げたくなったり、
Englishbuds の運営も断念したくなったこともありましたが、
それでもなんとか踏ん張ってこれたのは、
「おうち英語は人間に備わった本能だ」という信念があったから。

信念があれば、人は継続できます。

おうち英語で大切なものは、【信念】と【継続】かと思います。

メソッドとか教材は二の次かと。

私のコンサルの最後、ほとんどの方が仰ってくださる感想は

「スッキリしました!迷いがなくなりました」

です。

でも私は何も新しい画期的な手法とか
Englishbuds に伝わる口伝などを
コッソリお教えしているわけではないんです。
(知ってたら情報商材で売る www)

私がコンサルでお話することはいつも同じ。

「お子さん信じて待ちましょう」とか
「お子さん信じて、次のステップ飛んでみましょう!」

と言うだけです。

リップサービスで言ってるわけじゃありません。
私も信念持って確かだと思ってお話していることだから
その言葉には力があると思っています。

だからスッキリしていただけるのかな〜と。

そんなわけで、この1年おうち英語に頑張ってくられた皆様に
スッキリした気持ちで新年を迎えていただきたかったので
今日はこのトピックについて改めて書かせていただきました♪

今日私が書いたことは、
これまでもお話ししてきたことすし
目新しいお話ではなかったかと思います。

でもおうち英語でスランプに陥ると
なぜだか忘れてしまうことなんですよ。

病気になった時、うろたえて
お医者さんや薬にすがりついてしまうように、
おうち英語でも迷ったときほど
高額な教材やサービスに手を出したりしてしまったりしますね💧

本当は私たち自身の体に治す力があることを忘れてしまうように
私たちは生まれながらにして言語を身に着ける力が
備わっていることも忘れてしまう・・・。

人は自分の自信のなさを権威にすぎること埋めようとしてますが
おうち英語においても

●●メソッドとか△△監修とか、■■さん推薦!みたいな
教材や情報商材に手当たり次第に
手を伸ばしたくなることもあつたりしますが
目の前の子どもを信じて、その子に必要な取り組みを
継続すること以上に画期的で目新しい手法なんてないと思います。

母国語方式をベースとするおうち英語はシンプルなものなので。

とにかくお子さんのポテンシャルをもう一度
信じ直していただきたいなと思います!!!

今回はタイトルから怪しく、
「そのうち壺でも売るんじゃないか?」と
思われた方もいらっしゃるかもしれませんが、
信じるものは目の前のお子さんですからね ✨
売る壺は作れませんわ www
どうしても拝むものが欲しい方は
目の前のお子さんを拝んでおいてください!

ちなみに「信じる者は救われる」の意味ですが

『御子を信じる者は裁かれない。信じない者はすでに裁かれている。
神の独り子の名を信じていないからである。
光が世に来たのに、人々はその行いが悪いので、
光よりも闇を愛した。それが、もう裁きになっている。
悪を行う者は皆、光を憎み、その行いが明るみに出されるのを恐れて、
光の方に来ない。
しかし、真理を行う者は光の方に来る。
その行いが神にあってなされたことが、明らかにされるためである。』
(ヨハネによる福音書 3:18-21)

が語源と言われており、
つまり「信じたら天国に行けるよ」という意味ではなく、
【信じることそのものがパワーである】という意味です。

皆さん、今年もよくおうち英語頑張った！
来年は今年以上にわが子のことを信じていきましょう！

それでは、皆様良いお年を！

出典: MommyKayo Note 2023.12.21 公開記事